

2015.AUG

無料
FREE

北極大陸

ARCTIC CONTINENT

9

不死の宴

栗林元

わが手は翼 われは鳥

弾射音

戦え！宇宙キッドの作り方

murbo



不死の宴

第七回（二）常闇の系譜 承前

古来より正式な呼び名すら与えられずに連綿と伝えられたミシャグチの力とは、欧米ほどではないにしろ、やはり畏れ敬われ、そして忌み隠されてきた闇の系譜なのであろう。先ほどの菅原という所長が、そそくさとこの施設から立ち去ったのもそのためであろうと思いついたたつた。

「一刻も早く、その力を受けた者を観たいですね」

続きを読む

栗林元 Kuribayashi Hajime

戦え！宇宙カードの作り方

murbo

続きを読む

第9回
ヴァルターXi



わが手は翼
われは鳥

若い男の先生が信也にしがみついていた。
しばらくすると先生は信也をはなし、
しりもちをついてあえぎはじめた。
ふたりとも目をいっぱいに見ひらいてたがいを見まもつた。
あえぎながら先生は助けを呼んだ。
おじいさんの先生が階段をのぼってきた。

「どうしたんですか

若いほうの先生は信也に目をくぎづけにしたまま、信也を指さした。
「こ、この子が窓から飛びおりようとしたんです」

続きを読む

栗林元 作品集
薔薇の刺青
栗林元
発売中!

QRコード

<http://www.amazon.co.jp/dp/B00RQ5LMQ8>

パッチワールド
弾射音
発売中!

QRコード

<http://www.amazon.co.jp/dp/B00O5WSU7E>

わが手は鳥翼

弾射音

Dan Shannon

9

若い男の先生が信也にしがみついていた。しばらくすると先生は信也をはなし、しりもちをついてあえぎはじめた。

ふたりとも目をいっぱいに見ひらいてたがいを見まもつた。あえぎながら先生は助けを呼んだ。

おじいさんの先生が階段をのぼつてきた。

「どうしたんですか」

若いほうの先生は信也に目をくぎづけにしたまま、信也を指さ

した。

「こ、この子が窓から飛びおりようとしたんです」

若いほうの先生が信也の腕を背中にまわして押さえつけ、おじ

いさんの先生がふたりの横にならんで歩いていった。

三人とも、だまつたままだった。ゆっくりと流れしていく廊下の窓から、信也は校庭をぼんやりとながめた。

だれもない。ブランコがはるか遠くでかすかに揺れている。校舎のあちこちから、子供たちの泣き声や先生たちのひそひそささやく声が聞こえてきた。もうだれもさわぎたてる者はいなかつた。

職員室の怒ぎわにあつたこしかけに、信也はすわらされた。それは信也には大きすぎた。

まだすこしあえいでいる若い先生と、疲れきったおじいさんの先生、それにあと数人の先生が信也を取りかこんだ。今年来たばかりの女の先生が校長先生を呼びに行つた。

反対側の窓から青空が見えた。太陽はのぼりきつて、西の山への旅をはじめようとしていた。ほかには何もなかつた。背後でこするような足音がいくつもかさなつて聞こえ、信也はふり返つた。

白い三角巾とエプロンを着けた生徒たちが、給食の重い容器を運んでいく最中だつた。

ひとりのこらず、下を向いてすり泣いていた。

ふと、その中のひとり、信也がはじめて廊下を飛んだときに、うしろから信也を呼んだ女の子が顔を上げて信也を見た。女の子はしょくりあげながら、涙でまつかになつた目を向け、涙声でかすかに信也の名前を呼んだ。

やがて、そぞうしい足音が近づいてきた。

若い先生は感情をなくしてしまつたような目で信也を見まもりつづけていた。その背中ごしに、すきとおつた青空が輝いていた。信也はふたたび窓から空を見上げた。

哲郎の姿は、もうどこにもない。でも信也の耳には、哲郎がいつまでも、はやく空にのぼつてこいと信也に向かつてけんめいに叫んでいるのが聞こえつづけているような気がした。

誰もいないうつえの上に細長い花びんがひとつ。そこにわざかばかりの花が数本さしてあつた。信也はそのほうになんども目をやり、ちつとも授業に集中できなかつた。

きのうは葬式だった。哲郎のおかあさんは涙で目をまつかにはらしていた。はじめて見る哲郎のおとうさんは泣いていなかつたが、それでも最後のあいさつのときはことばをつまらせていた。

やっぱり、手術は成功しなかつたのだ。先生はそう言つた。でも、信也はそのことばを信じる気にはなれなかつた。

あの日のことが、ほんとうのことだつたのか、それとも夢だつたのか、信也にはいまだにわからない。哲郎に借りた本をいつしょうけんめい読んで練習したおかげで、空を飛ぶ夢を見ることができただけなのかもしれない。でも、信也にはあれが夢だつたとはどうしても思えなかつた。

哲郎が空高く飛んでいつたのをはつきりとおぼえている。それから、自分自身も空を飛んだ。それから、みんなも。あれが夢だつたはずがない。たしかに、みんな空を飛んだのだ。夢だつたら、なにもかもこんなにはつきりとおぼえているはずがない。

悲しみに満ちた葬式のことを、信也は思ひだした。おとなたちは泣いていた。先生も泣いていた。参列したクラスの友だちのなかにも、哲郎とは親しくなかつたのにつられて泣いている子もいた。クラスの代表がおわかれの言葉を読みあげていてるあいだ、信也はうつむいてくちびるをかみしめ、泣きだしそうになるのをじつとこらえていた。おわかれの言葉を読みながら、クラスの代表の子は哲郎が天国に召されて、二度と会えないというようなことをいつていて。哲郎のおとうさんも、最後のあいさつでおなじようなことを言つた。でもそれはウソだと、信也は思つた。

葬式がおわって歩きながら、信也はなんども空を見あげた。どこかに哲郎が飛んでいるのではないかと思つたのだ。でも、哲郎の

姿は空のどこにもなかつた。飛んでいるのは、鳥たちだけだつた。

哲郎のつくえの上の花を、なんども見つめる。そして、なんども窓の外の空を見あげる。やはり、哲郎の姿はどこにもない。でも、きっとといまも哲郎はどこかを飛んでいるにちがいないと信也は思つた。ひよつとしたら、外国の空を飛んでいるのかもしれない。空を飛べるようになつたのだから、どこへでも行ける。きっとぼくを予分にしたことも忘れて、空の外国旅行を楽しんでいたにちがいない。

休み時間になると、哲郎のことを話しあう子たちもいた。それを聞きながら、信也は強く思つた。

ちがう。哲郎くんは死んだんじゃない。空を飛んで、遠くへ行つただけなんだ。みんなだって、哲郎くんに教えてもらつて、ほんの少しだけ空を飛ぶことができたじゃないか。たしかに、哲郎くんはもう帰つてこないかもしれない。でも、それは死んだからじゃない。もう学校にも、家にも、パパにもママにも未練がなくて、自分の好きなところへ飛んでいつて、帰つてくる気がないだけなのだ。ここには友だちがいなかつたから、ほんどの友だちがいっぱい作れるところへ飛んでいつただけなんだ。

どうしてぼくをつれていつてくれなかつたの？信也は思つた。ぼくはきみの子分だつたじやないか。それを忘れてしまつたの？そ

う思ひながら、信也はまたも泣きそうになつた。

目にほんの少し涙をうかべて、信也はいつまでも窓の外の空を見あげていた。

戦え！宇宙キッドの作り方

第9回 ヴァルターXi



murbo

ヴァルター^{カイ}は銀河パトロールの一人乗り小型宇宙船。標準塗装は明るいグレー。

機首には戦闘、航行のための自立型コンピュータが配置され、長距離航行時、高速戦闘時などのパイロットのサポートをする。またパイロットなしで完全自動操縦も可能。また、作戦によって、このパーティを大型ミサイルランチャー、偵察用カメラ、精密作業用の腕など、さまざまユニットを取り付けることが出来る。その際の自立型コンピュータはサブセット版が搭載される。

機体のほとんどは装甲になっている。これは宇宙船としては特殊で、さまざまな惑星や作戦に対応するためである。キャノピーの強度は機体の装甲とは比較にならないが、20mm 機関砲程度ならある程度耐えることが出来る。

ハイパスペースドライブ用のエンジン、GX0987を機体中心に配置している。ハイパードライブ発動時は青い爪状の部分が発光する。

翼端の三基のエンジンは通常エンジン。このエンジンボックには重力破壊砲も格納している。このブロスター・キャノンは破壊力は強大だが、発射までのバッテリーチャージが必須で機

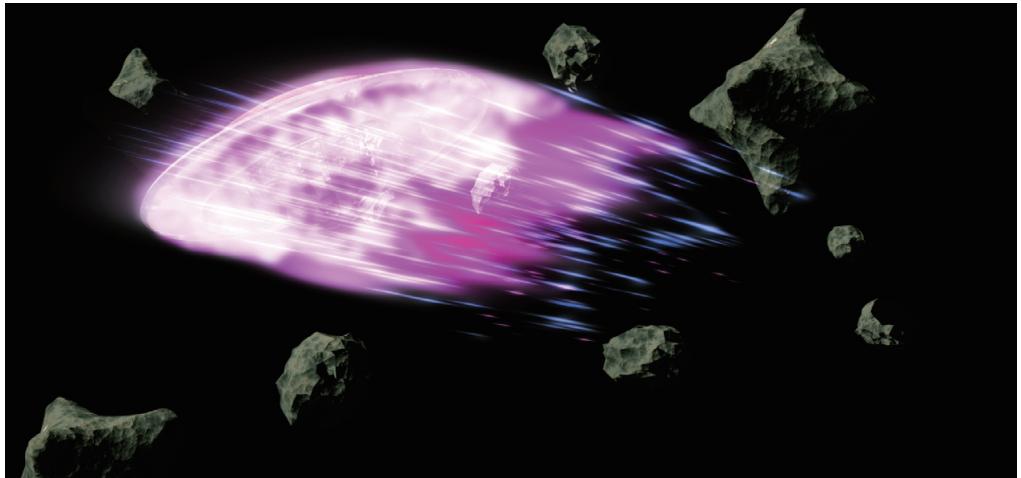


■ハイパースペースドライブから抜け出た瞬間。

動力に欠ける為、標準武装の
20mm 光線銃を常用する。
しかし、20mm 光線銃は大
きのある惑星では射程距離な
ど性能が大幅に落ちるため、
状況によっては実弾を利用す
る機関砲に換装した機体も存
在する。

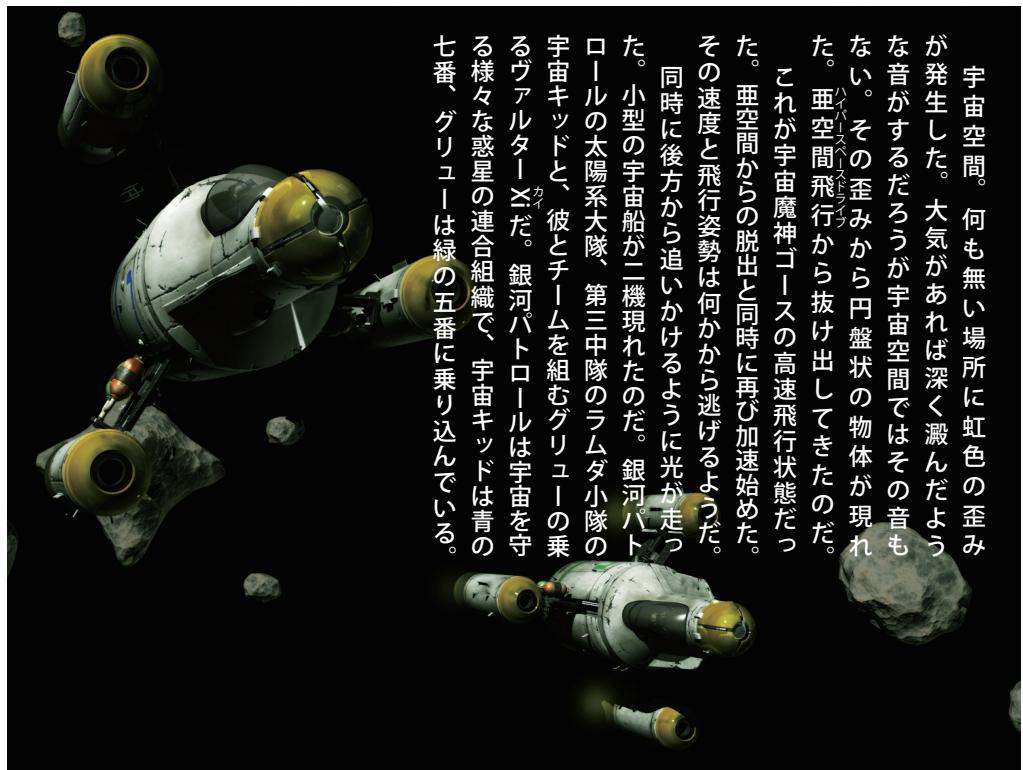
ヴァルター Xi	カイ
全長 / 10m	
重量 / 4.43t	レーザーガン
武装 / 20mm 光線銃 x2	グラビティキャノン
重力破壊砲 x3	





戦え！宇宙キッド 銀河パトロール CHASE THE GOTH! SOS! 1

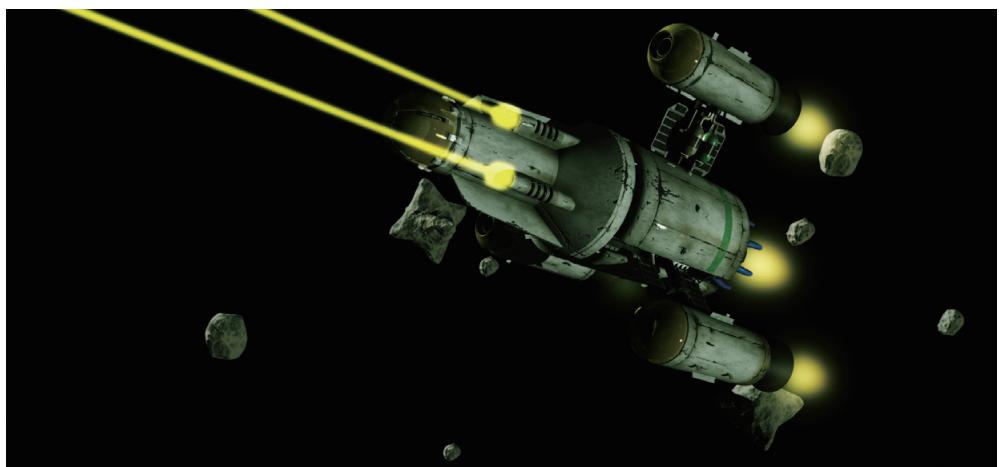
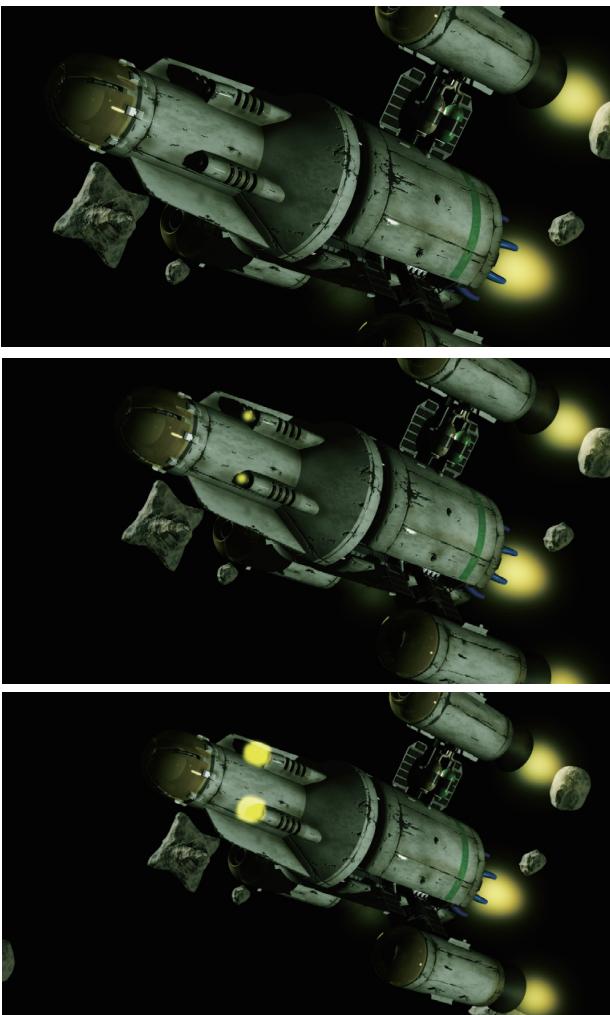
宇宙空間。何も無い場所に虹色の歪みが発生した。大気があれば深く濾んだような音がするだろうが宇宙空間ではその音もない。その歪みから円盤状の物体が現れた。ハイ・スペース・ストラップ 亜空間飛行から抜け出してきたのだ。これが宇宙魔神ゴースの高速飛行状態だつた。亜空間からの脱出と同時に再び加速始めた。その速度と飛行姿勢は何かから逃げるようだ。同時に後方から追いかけるように光が走った。小型の宇宙船が一機現れたのだ。銀河パトロールの太陽系大隊、第三中隊のラムダ小隊の宇宙キッドと、彼とチームを組むグリューの乗るヴァルター^{カイ}だ。銀河パトロールは宇宙を守る様々な惑星の連合組織で、宇宙キッドは青の七番、グリューは緑の五番に乗り込んでいる。



彼らは魔神コースを追跡してきたのだった。これまで実体の掴めなかつたコースをついに発見したのだ。ラムダ小隊は更に加速し、超^{ショート}_{ハイードライブ}で追い詰め、コースを目視出来るまで距離を縮めた。グリューが20mmレーザーガンを発射する。同時に宇宙キッドはヴァルターブの重力破壊砲^{グラビティキャノン}のチャージを開始した。ブラスター・キャノンは強力な武装だが、加速器の起動に機体のジェネレーターを利用するため、発射するまでに時間がかかるのだ。続いてグリューも重力破壊砲のチャージを始める。

宇宙キッドたちアルファ小隊は、威嚇射撃^{アーステロイド}を繰り返しながらコースに近づいく。コースはレーザー攻撃をかわしながら小惑星群に入り、これらを盾にして逃げる。

【続く】



不死の宴

第七回（二）常闇の系譜 承前

前回までのあらすじ

昭和十八年九月、若き病理学者・如月一心は陸軍登戸研究所の招聘で長野県上諏訪にやってきた。極秘の「ミ号」と呼ばれる国防計画に加するためだ。その日、登戸研諭訪分室では、第一号被験者が蘇生とともに獣化する事件が起きる。一夜開けて研究室に出向いた如月は、「ミ号」計画が、古来より伝わるミシャグチ（日本のヴァンパイア）の力を利用した超人兵の研究であることを知られる。

観たいですね」

如月はもう驚きも畏れもなく、純粋な知識欲だけでそう言つた。

「今夜、日没後に会つてもらいます」

「日没後？」
「今はまだ、安全な場所で眠つておられます」

「その方は、かなり高齢なのですか？」

「ミシャグチの血を守つてきた継承者ですからね。十七世紀以降の継承を担つてきた女性です。私どもでは姫巫女と読んでおります」

「姫巫女？」

「ええ、諏訪氏に繋がる一族の女性です。明治以降は華族の身分です」

「士族ではなく、華族ですか？」

「あります」

「姫巫女に会うのは日没後ですが、先生思つた。

に、その前に早速検分してほしい検体があるのです」

「ええ、ミシャグチの所轄は宮内省ですからね。皇室と同様、維新後の近年は時の権

のもそのためであ
ろうと思いつたつ
た。

「一刻も早く、そ

の力を受けた者を

力とは一線を画していた訳です
「その姫巫女は、そのなんとい
うか、やはり血を吸うのですか」

と如月は聞いた。

「ええ、彼女はヴァンパイアで
すから」と竜之介は言つた。「た
だ、映画のように夜間に徘徊し
て人を襲うようなことはありませんよ。

我々一族の血を与えています。古代のよ
うに生け贋を使うこともありません」

そして、「先ほどのフィルムで、四人相
手に戦つていたのが、その姫巫女ですよ」
と言うと愉快そうに微笑んだ。如月の驚
きを楽しんでいるように見える。やが
て如月は、今まで絶対に口外できなかつ
た秘密を、部外者の如月の話す開放感が
竜之介を微笑ませたのかもしれないと思つた。

栗林元

Kuribayashi Hajime

すが、昨日、蘇生と同時に問題が起きて死にました。その死体です」

竜之介は立ち上がり、「さ、ご案内します」と言つて如月を促した。公彦が扉を開けた。

竜之介と如月が向かう検体のある部屋は本館研究棟の地下だった。まず階段を下りて研究棟一階に出た。木の床タイルが敷かれている廊下は歩いていくと柔らかい音を立てる。

蚕業研究所の本館だった建物で、明治後期に建てられた木造三階建てだ。北里研究所の本館を思わせる。白衣の男女とすれ違つた。

「研究者もいるんですね」

「大学から応招された軍医と薬剤官が数人です。臨床医が大半で学者は如月さんが初めてです。あとは赤十字の看護婦が少々。この研究所はミ号兵士の臨床研究ですので、後々看護婦も必要だらうと判断されたのです」

「その判断は医学関係の軍高官がしたのですか?」

「石井少将ですよ」

「ああ、あのノモンハンで感状を受けた石井四郎閣下ですか」

それならば、まちがいはなかろうと如月は思つた。石井四郎少将は、関東軍の防疫水部隊を率いていたが、自身の発明した石井式濾過器という浄水装置を作つて功績が大きく、医学官としては初の感状を受けた立志伝中の人物だった。

一階の廊下の奥に「病理研究室」と書かれたプレートが掲げられた部屋があつた。

竜之介はその札を「在室」側につるすと、

「如月先生の部屋です。必要な機材は申し出てください」と言つた。そして、廊下の反対側の「運用研究室」というプレートの部屋を指さして、「あそこが私の部屋です」と言つた。そして如月に部屋の鍵を渡すと、「白衣に着替えたら、地下の検

体室で会いましょう」と言つた。



如月は、死体の上半身の銃創を調べていた。

「銃創三ヵ所、左上胸部、左胸部、右肩、いずれも射出口なし、盲管銃創」と言うと両角がそれを書き留めていく。

「左上胸部は射入口が」と言いかけたところに両開きの大きな木のドアがあ

りその奥だつた。

内側の壁と床はタイル張りで、作られ

まだ間がないのか消毒薬の臭いよりコンクリートの臭いの方が強かつた。二十畳程の広さで壁には作り付けの棚があるが、まだほとんど物は置かれていなかつた。

部屋の中央に大きな手術台があり、獣化の途中で首を切り落とされた異形の肉体が無影灯に照らされて横たわつていた。

切り落とされた頭部の方は手術台の横のテーブルの上で大きめの盆の上に置かれていた。

如月は白衣・白帽・マスクをして、手術台のわきに立ち、同様の装束の守矢竜之介に見守られながら死体を検分していた。助手として、応酬された両角という予備軍医が記録帳を持つて立ち会つていた。

「左上胸部は射入口が」と言いかけたところに両開きの大きな木のドアがあ

言葉を詰まらせた。そして「弾がないな

と言つた。弾の貫通しない盲管銃創だから当然後ろ側に射出口はない。弾丸の入った射入口も小さくて肉が締まりかけている。だがその内部に弾丸が見あたらないのだ。ピンセットでその中を探つて、「弾はこちらです」と言つて竜之介が、横のテーブルの膿盆を指さした。そらまめ型の膿盆に小指の先ほどの二個の弾頭が転がつていた。そして、「近藤は死ぬまでに、傷から筋肉の圧力で拳銃の弾頭を排出していました。体内に残つているのは左胸部の小銃弾頭だけだと思います。」と言つた。

「ミシャグチの系譜では、昔からこういうことはあつたのですか」

「ミシャグチの力がうまく授かる場合は

ミシャグチの力が降りると言いますが、このような場合はミシャグチが憑くと呼ばれています。ただ、実際に見たのは初

めてですよ。姫巫女は子供の頃に一度見たと言つてましたがね」

如月は死体の首の切断面を見ながら、「見事な切り口だ。竜之介さんは居合いなどを武道経験があるんですか」と聞いた。

「守矢の者は、赤口流（シカクチ）という古流の体術修行します。ただ、これを切つたのは

私ではなく、妹のみどりですよ」

「え、あのお嬢さんが？」と如月は驚いた。

「こっちの弾頭は、おそらく肺の中に落ち込んでいると思います」と如月。そして「この回復力もミシャグチの力ですか」と聞いた。

「獣化が完全に終わつていれば、もつと回復力は速くなります」

如月は、死体の体の弾力を確かめながら「この筋肉はもう人じゃないな」とつぶやいた。そして下肢の方を観ると、「獣脚状に変形が進んでいる」とつぶやいた。

「免疫反応」と問い合わせる竜之介に、「

種のアレルギー反応ですよ」と言つた。

そして、ヴァンパイア化そのもの、またアレルギーの一形態かも知れないと思つた。

不死の宴 続く

無影灯（むえいとう）

手術室などで用いられる照明器具の一種。手術作業への影響を減らすために影を生じないよう、電球内や反射板によつて光を乱反射させる仕組みが施されている。

しれない」と言つた。

首の切断面には傷口の回復傾向は全くなかつた。「なぜ首を落としたんですか」と聞くと、「昔から、ミシャグチの兵や人狼はどれだけ傷を負つても首が繋がつているうちは死なないと言われてます」

「脳からの分泌物のせいかなあ」とつぶやいたあと、「獣化は一種の免疫反応かも

この物語はフィクションであり登場する地名・人名・企業名はすべて架空のものである。

「編集後記」

栗林元／登場人物たちのお互いの気持ちなどを進展させるエピソードも必要だし。まあ、山は高いほど登りがいありますね。

murbo／編集後記できますか？

栗林元／大丈夫ですよ

murbo／今、読み終わりました。

栗林元／お疲れ様です。

分量どうですか。

murbo／まだレイアウト出来てませんけど、四ページ位で收まりますよ。

栗林元／了解です。全部書いた段階で加筆して

エブリスタあたりのらしい賞に応募しようかとも思っています。

murbo／ネットの公募も幾つかあるようですね。

栗林元／ほんとに序章です。三号兵士の実験部

隊、その某戦場への投入実験、そして終戦までが序の巻。終戦でばらばら

になった如月や童之介や美沙たちの物語を軸に、自分が生きてきた昭和時代の空気を描いていきたいと思つています。

murbo／あ、無影灯は何だから分からなかつた

まままだ物語は序章のようですが。

栗林元／ほんとに序章です。三号兵士の実験部

隊、その某戦場への投入実験、そして終戦までが序の巻。終戦でばらばら

になった如月や童之介や美沙たちの物語を軸に、自分が生きてきた昭和時代の空気を描いていきたいと思つています。

murbo／まだ終戦迎えていないから、長い道のりですね。

murbo／まだ終戦迎えていないから、長い道のりですね。

けどね。だから暑かつたと思うけどその描写は次回だな。

栗林元／なるほどね。僕はネガティブな指摘も

大丈夫です。他作品との知らないうちのダブりとかも知れるし。例）この設定つてラノベの「なんとか」って作品

と同じだよとかは、早く知ったほうが修正ができるし。

murbo／次回も宜しくお願ひしますね。

栗林元／ありがとうございます。

murbo／僕はその辺りは気にしていませんが。

栗林元／「おもしろかった」とか「次にどうな

るの」っていう声は大きなモチベー

ションにつながるんですよ。

murbo／それとは反対のコメントも受け入れな

くてはならないし、今は続けることに

集中したいと思います。

コメントがあるとそれを気にしてしまうから、

仮にあったとしても無視したいです。

栗林元／なるほどね。僕はネガティブな指摘も

大丈夫です。他作品との知らないうちのダブりとかも知れるし。例）この設

定つてラノベの「なんとか」って作品

と同じだよとかは、早く知ったほうが

完結しました。

栗林元／そうです。日本に初めて入ってきたのは大正時代です。光源こそ白熱灯です

弾射音既刊本

パッチワールド

人格シミュレーションとなった村田は独自の理論を実証するため、恒星間宇宙船を乗つ取りヒアデス星団で実験を再開する。地球を破壊した謎の結晶体による地球再生の可能性を突き止める。……クリス・ボイスの名作『キャッチワールド』へのオマージュ。第一回SF新人賞候補作を加筆。

<http://www.amazon.co.jp/dp/B00O5WSU7E>



クラフトロン 弾射音短編集 SF 編

「クラフトロン」…夫のテリーは旅先の地球で他の観光客もろとも消息を絶ち、私は軍人として搜索を命じられる。変異に地球は飲み込まれ、私はついにテリーの真実を知る……。他三篇。

<http://www.amazon.co.jp/dp/B00MP4I8JE>



今度、死ぬことになった 弾射音短編集 ミステリ編

「今度、死ぬことになった」…私は大学時代の友人から、「今度、死ぬことになった」という文面の手紙を受け取る。そして死んだ。彼は恨みを持つ女のマンションに爆弾を仕掛けたと遺言を残す。……他二篇

<http://www.amazon.co.jp/dp/B00MOZXM22>



理由なき朝食 弾射音ショートショート集 Vol.1

夜中の三時、ママはぼくをいきなり起こす。真顔で朝食を食べなさいと言うのだ。パパとお姉ちゃんはパニックだ。そのうちに、みんなは泣きながら真夜中の朝食を始める……他 24 編

<http://www.amazon.co.jp/dp/B00MUQJGT8>



ばおにゃん？ 弾射音ショートショート集 Vol.2

暇だったので、象と猫のハイブリッドを作ってしまった。巨大な象猫は元気に「ばおにゃん！」と鳴く。妻は今すぐ捨ててきなさいと言う。ぼくはいったいどうしたらいいのだろう？……他 24 編

<http://www.amazon.co.jp/dp/B00MW4ZC78>



デイズ・オヴ・ホミサイド

殺人が犯罪ではない近未来。簡単に殺し合う人々。加藤芳雄はある日、吉田美枝子を地下鉄内で殺す。政府のコンピューター内に蘇った吉田美枝子は、逆に芳雄を殺そうと反撃に打って出る。

<http://www.amazon.co.jp/dp/B00MKDQSLA>



彼女の手の中のバービー

彼女はいきなり僕の顔に化粧をした。僕は彼女の手で、どんどん女になっていく——美人女子大生と女装少年の、奇妙な愛のかたち。

<http://www.amazon.co.jp/dp/B00GWY6ISQ>



レイルウェイ、ターミナル、そして故郷へ

僕は棺桶職人。ある日、大変なことに気づいてしまう。いどうるが手許にないのだ。人は、いどうるなしでは人は生きていけない。僕は、いどうるを取り戻すため、故郷へ向かって旅を始める。

<http://www.amazon.co.jp/dp/B00MKCJPR0>



栗林元既刊本

薔薇の刺青（タトゥー）／自転車の夏

日本人と結婚して永住権を手にしたマリアンは、どこへ消えたのか。昭和六十年の名古屋市を舞台に、外人タレントプロダクション、偽装結婚、など、裏社会を描いたハードボイルド作品。

<http://www.amazon.co.jp/dp/B00RQ5LMQ8>



神様の立候補／ヒーローで行こう！

西本は広告会社の営業。彼に下された使命は、新聞用選挙広告を法定回数五回分を全て東海新聞の扱いで獲得すること。ところがその候補者は、「龍神様のお告げで立候補を決意した」というおばあちゃんだったのだ。

<http://www.amazon.co.jp/dp/B00IB9F4OE>



1988 獣の歌／他 1 編

気がつくと、「獣」は新生児の心の中にいた。今まさに殺されようという瞬間だった。間一髪、肉体から抜け出した獣は、少女の心に飛び込んでいた。しかし無理な躍進で、多くの記憶を喪失してしまう。他 1 編

<http://www.amazon.co.jp/dp/B00KK5I61U>



盂蘭盆会〇〇〇参り（うらばんえふせじまいり）他 2 編

18 歳を目前にした仁は「明日のお参りにはお前も来なさい」と、父から告げられる。話によれば長男は兄弟の中でも比較的早く「お参り」に連れていかれるのだという。果たしてそのお参りとはどのようなものなのか。他 2 編

<http://www.amazon.co.jp/dp/B00NCD05MK>



murbo 既刊本

宇宙キッド 怪獣図鑑 魔人ゴース編

架空の連続 TV アニメーションである、宇宙キッドに登場する敵怪獣などをカード風のレイアウトで紹介する図鑑。

<http://www.amazon.co.jp/dp/B00EM4ST80>



宇宙キッド 怪獣図鑑 ドーモル団編

架空の TV アニメ、宇宙キッドに登場する敵怪獣のカード風のデザインで紹介する図鑑。第二巻

<http://www.amazon.co.jp/dp/B00F0CFGVQ>



戦え！宇宙キッド 怪獣図鑑 超電子頭脳ズレイノウン編

架空の TV アニメ、宇宙キッドの敵メカ怪獣をカード風に紹介した図鑑。第三巻

<http://www.amazon.co.jp/dp/B00HRW3ELG>



一枚 55mm x 55mm。
一回料金 1,000 円
年契約 10,000 円
240dpi 以上の解像度、
cmyk モードの
psd フォーマットのみ受付け
ています。
詳細と受付は
denpub@1001sec.com ^。

